

洋友会 滋賀

Vol. 47

三洋電機洋友会滋賀地区

大津市瀬田 1-1-1

電話 077-543-5601

発行人 田中国夫

編集人 片岡耕作 池上浅夫

「参加しよう! 仲間の集う
洋友会の各種の催し」

三洋電機洋友会滋賀地区
副会長 倉世古隆生

近年は約300名前後で推移していた滋賀地区の会員数は、本年6月現在で277名です。これは会社の構造改革の影響で職場が分散し、若手の入会が少なくなくなっているのが原因ですが、新会員の確保が今後の活動を盛り上げて行く上での課題です。

さて今回、昨年の「滋賀地区の各種行事」への参加状況を調査・分析しました。その結果は下記〈別表〉に記載の通りです。

全体では、年間に一度だけでも参加した事のある方が60%に達せず、これは予想より少なく残念な結果でした。

〈別表〉 滋賀地区洋友会 平成27年度「行事・同好会」参加実績まとめ

	全体	男女別		年齢別		地域別		参加行事別			
		男性	女性	75歳以上	75歳未満	近郊 (大津・草津・湖南)	その他地域	同好会活動	総会懇親会	旅行	親睦会
対象人員	277	258	19	145	132	246	31	277	277	277	277
参加者(人)	163	150	13	82	81	152	11	132	94	43	46
参加率(%)	58.8	58.1	68.4	56.6	61.4	61.8	35.5	47.7	33.9	15.5	16.6
重複参加有り											

この表から気付くことは

- ① 旅行(日帰り・一泊)及び親睦会の参加者の少なさ。
- ② 年齢層(75才区分)では差が少なく90才以上の方でも積極的に参加(別資料による)。
- ③ 地域別のデータでは、大津市近郊以外の方の参加率の低い結果が顕著。
- ④ 女性の会員数は、19名(全体の7%弱)と極端に少ない。

等々が挙げられます。

その他特記すべきは、参加されている方の中には、各種行事や同好会に重複して多く参加され、最多回数は66回、50回以上が6名を数えますが、まったく参加されていない方が約4割の114名と極端な隔たりがある点です。

以上の結果は、洋友会他地区の活動内容と比較しても特に弱点や大きな差があるわけでもありません。それだけに打開策としての妙薬はありませんが、地道に根気よく下記に示す項目を進めてゆきたいと考えています。

今後洋友会活動の一環としてまず第一に、スキル・体力がある程度求められる同好会よりも気軽に集い顔を出しやすいサロンのな場を検討してゆきます。

第二に会員同士が親しかった仲間に声をかけて各種行事への参加を呼びかける運動を展開します。特に同好会へは入部を強要せず、気楽に覗いてもらうだけで良いという感覚で、一歩踏み出して頂けるよう配慮します。

最後は入会勧誘です。60代前半でまだ連絡が取れていない方々や女性を対象に役員中心に取り組みます。

昨年の実態を踏まえて、皆様方のお知恵を拝借しながら、洋友会の活動をさらに盛り上げる為、『まず実行』をモットーに取り組みます。ご支援よろしく願います。



お知らせ

◇親睦会(バーベキュー大会)

日時…9月9日(金) 11時
会場…矢橋帰帆島キャンプ場
会費…2,000円

年間統一行事報告

『若狭箸作り体験』

『日本海グルメ』旅行

報告者 池上浅夫

今年の春の旅は、従来の一泊旅行を変更し、気軽に参加し易い近場の日帰り旅行となりました。結果参加者は40名もの多きを数えての催しとなりました。晴天の中、ほぼ定刻に出発した一行は、田中会長挨拶の後、早速車中でもピッチが上がり、



聞いたところでは、一般のバス旅行の中でも驚くほどの消費量だった様です。そのせいか行程中1時間毎のトイレ休憩となる程でした。

最初の目的地の「日本海さかな街」は、北陸屈指の賑わいを見せる海鮮市場でした。当日は平日の午前中という事で客の入りはまばらでしたが、その分威勢のいい売り子の声を聴きながらのお土産などの買い物もし易い状況でした。

次に午後1時頃に到着した今回本命の「昭和館」は、遊子海岸に位置する民宿ですが、日本海グルメの期待を満足させる充実した内容でした。特に各種の新鮮な魚の「活け作り」は絶品でした。その他エビ・カニ・サザエ・カレイ等々の並んだ料理や飲み物共実質本位で、今後の旅行企画の参考となりそうです。上江洲さんの乾杯から岸場さんの中締め、そして楠見さんリードの「琵琶湖周航の歌」までカラオケを挟んだ充実した2時間あまりのひと時でした。



最後に寄った「箸匠せいわ」は、若狭塗箸専門店です。ここは箸を中心としたテーマパーク化を目指しており、45歳の社長がその話術と独特のキャラクターで会社をリードしている姿が印象的でした。伝統を誇る小浜の塗り箸業は日本の箸の生産の8割を占めるとはいえ、その規模は小さい為、ここでは観光客を呼び寄せる集客力向上に活路を見出すべく取り組んでいます。箸と言っても数百円の実用タイプから黒檀製の数千円の品まで目的により様々でした。

全ての予定を終了し6月2日19時過ぎに帰着・解散しました。思いっきり飲んで食べての楽しい1日でしたが、添乗員の活用により役員の負担も軽減され、又トラブルなく無事終えることができたことを感謝します。

